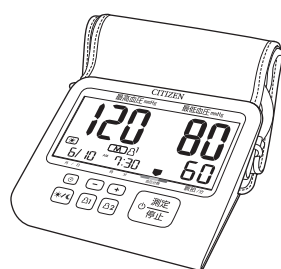


取扱説明書

シチズン上腕式血圧計
CHU703



- ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねています。紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。

1. 本体付属品

以下の物がそろっているかご確認ください。

- **本体**
表示部の透明シールをはがしてお使いください。
- **カフ(腕帯)**
型番：SCN-012
- **単3形アルカリ乾電池4本(モニター用)**
- **ACアダプター**
- **取扱説明書/保証書**
- **医療機器添付文書/EMC技術資料**

2. 安全上のお願い

ご使用前に、この「安全上のお願い」をよくお読みください。

- 警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
- 注意** 人が傷害を負ったり、物的損害*の発生する可能性が想定される場合

*物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

警告

- **測定結果の自己判断、および治療は危険です。必ず医師の指導に従ってください。**
→ 自己判断は、病気の悪化につながるおそれがあります。
- **心臓疾患、その他循環器疾患、重度の血行障害のある方やペースメーカーをご使用の方は、医師の指導に従ってください。**
→ 体調不良をおこすおそれがあります。
- **電池の液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。**
→ けがなどの原因になります。
- **分解・修理・改造をしないでください。**
→ 事故やけがのおそれや、本体が故障する原因になります。

注意

- **お子様や意思表示ができない方へのご使用はおやめください。**
→ 事故やけがの原因になります。
- **長時間連続して測定しないでください。**
→ うっ血、はれなどの原因になります。
- **血圧測定以外に使用しないでください。**
→ 事故やけがの原因になります。
- **血圧計の近くで、携帯電話などを使用しないでください。**
→ 誤作動をおこすおそれがあります。
- **古い電池と新しい電池、種類のちがう電池を同時に使用しないでください。**
- **電池の+** **-**の向きを間違えないようにしてください。
→ 漏液、発熱、破裂などをおこし、本体が破損する原因になります。
- **本体に無理な力を加えたり、落としたりしないでください。**
→ 故障の原因になります。

ACアダプター使用上のお願い

警告

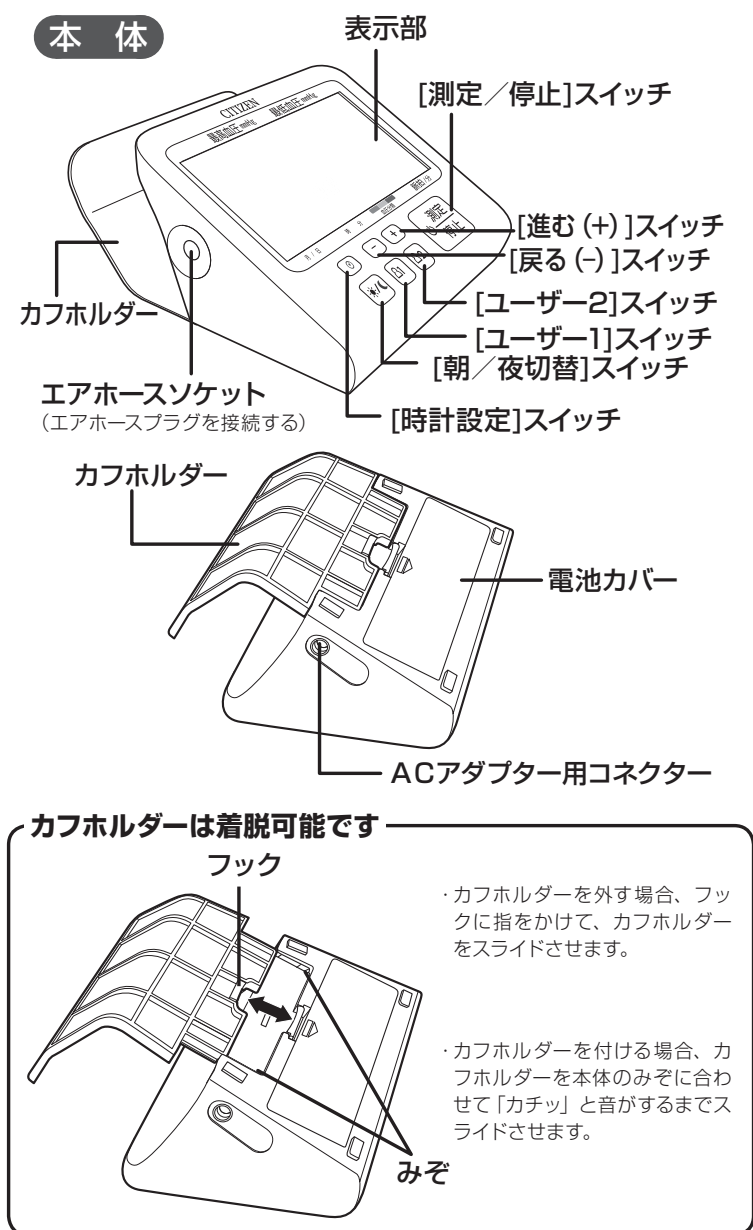
- **ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
→ 感電や火災、故障の原因になります。
- **ACアダプターを抜くときはコードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。**
→ 感電や火災、故障の原因になります。
- **電源プラグのほこりは拭き取ってください。**
→ 感電や火災、故障の原因になります。
- **専用のACアダプター以外は、使用しないでください。**
→ 感電や火災、故障の原因になります。
- **ACアダプターはぬれた手で、コンセントから抜き差ししないでください。**
→ 感電や火災、故障の原因になります。
- **ACアダプターのコードやプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。**
→ 感電や火災、故障の原因になります。
- **電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、使用時に束ねたりしないでください。**
→ 感電や火災、故障の原因になります。

* ACアダプターをお買い求めになる場合は、販売店又は弊社お客様相談室(0120-88-6295)でお受けします。

3. 血圧測定の基本事項

- 測定前に5～6回深呼吸をし、リラックスして測定してください。(緊張時や、精神状態が不安定なときは、血圧が安定しません。)
- 睡眠不足や便秘のとき、または運動や食事の後でも血圧は高くなります。
- 飲酒の後や入浴直後には測定をおこなわないでください。
- 尿意や便意があるときは、排尿や排便をすませてから測定してください。
- 20℃前後の室温で測定してください。寒さは血圧を上昇させます。
- コーヒーや紅茶などを飲んだり喫煙した直後は、正しい値が得られません。
- 連続して測定をおこなわないでください。上腕がうっ血して正しい値が得られません。必ず間隔(1分以上)をあけてから測定してください。
- 柔かな姿勢で安静にして測定してください。カフを心臓の高さに保ち、腕を動かしたり、話をしないでください。
- 血圧は長期のデータを見ることが大切です。お薬(血圧を下げる薬など)を服用した時間も考慮して、一日のうちで最も安定した状態が保てる時間帯を選んで、毎日できるだけ同じ時刻に測定しましょう。
- 測定中に体に異常を感じたり、気分が悪くなったりした場合には、使用を中断して医師の指導を受けてください。

4. 各部のなまえと機能



表示部



カフ(腕帯)



5. 電池を入れましょう

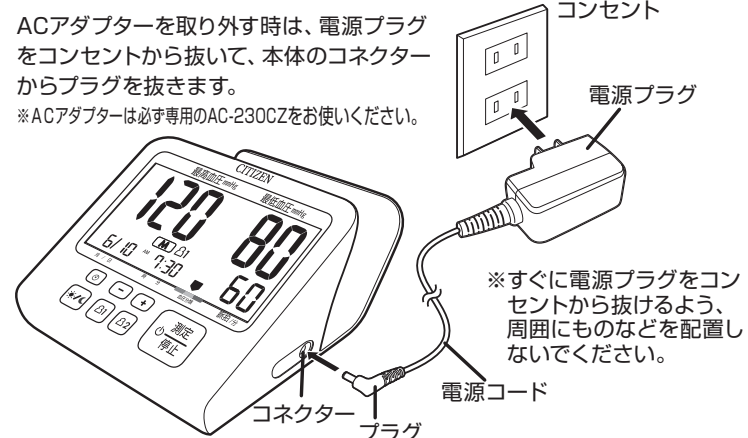
※電池を入れたら、時計を合わせてください。

- 電池カバーを外します**
フックに指をひっかけ、手前に引くようにして開けます。
 - 電池を入れます**
+ -を間違えないように必ずバネの出ている-側から入れてください。
 - 電池カバーを閉めます**
ツメをくぼみに合わせ、「カチッ」と音がするまで電池カバーを閉めます。
- ※電池交換の場合は、電池を交換してもメモリーは保持されています。
※電源を入れたら、時計を合わせてください。

- **○** または **□** マークが表示されたら、電池を4本同時に交換してください。(充電電池をご使用の場合は充電してください。)
 - 付属の電池はモニター用ですので、所定の電池使用回数を満たさない場合があります。
 - アルカリ電池、マンガン電池、ニッケル水素充電電池を混ぜて使用しないでください。
 - アルカリ電池、マンガン電池、ニッケル水素充電電池以外は使用しないでください。
 - ニッケル水素充電電池は専用の充電器で充電してからご使用ください。
 - ご使用済みの電池は、お住まいの自治体のルールにもとづいて正しく処分してください。
- ※ニッケル水素充電電池は、エネルギーまたは充電電池式エボルタをご使用ください。

6. ACアダプターの使いかた

ACアダプターのプラグを本体のコネクターに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。



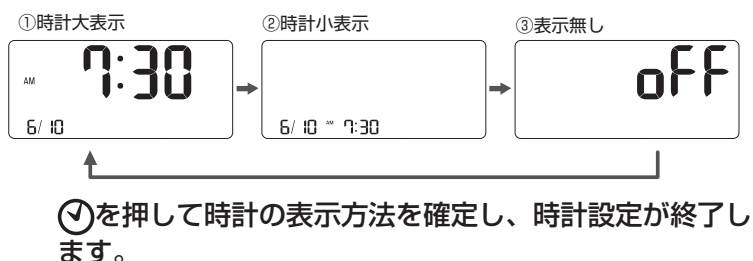
ACアダプターを使用する場合の注意

ACアダプターを使用する場合、電池を入れて使用することをおすすめします。電池を入れないで、ACアダプターをコンセントまたは本体から抜くと、設定した日付と時間が消えます。(メモリーは保持されています。)

7. 時計を合わせましょう

電池を入れると、時計合わせの「西暦年」が点滅しますので、以下①から順に設定してください。

- + または - を押して「西暦年」を合わせます**
数字を合わせたら、**✓**を押してください。「西暦年」が確定し、「月」が点滅します。
- + または - を押して「月」を合わせます**
数字を合わせたら、**✓**を押してください。「月」が確定し、「日」が点滅します。
- + または - を押して「日」を合わせます**
数字を合わせたら、**✓**を押してください。「日」が確定し、「時」が点滅します。
- + または - を押して「時」を合わせます**
※ AM～午前 PM～午後
数字を合わせたら、**✓**を押してください。「時」が確定し、「分」が点滅します。
- + または - を押して「分」を合わせます**
数字を合わせたら時報などを確認して、**✓**を押してください。「分」が確定し、「12H」または「24H」が点滅します。
- + または - を押して「12/24」時間表示を選びます**
●例：午後1時の場合・・・12H→PM1:00 24H→13:00
お好みで合わせたら、**✓**を押してください。
- + または - を押して、時計の表示方法を選びます**
+ を押すたびに、①時計大表示、②時計小表示、③表示無し(OFF)、と順々に切り替えて、お好みの時計の表示方法を選択します。
(- を押すと逆に表示が切り替わります。)



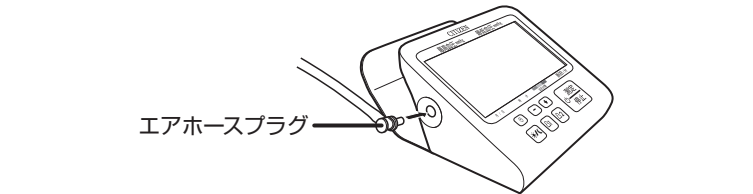
時計を修正する場合

いずれかの設定(時計や表示方法等)を修正する場合は、設定を最後まで終了させた状態で、**✓**を長く(約2秒)押してください。画面に「西暦年」が点滅しますので、「7. 時計を合わせます」の手順①から操作してください。

8. カフ(腕帯)を巻きましょう

- カフ(腕帯)は素肌に、もしくは薄い肌着の上から巻いてください。
- 厚い上着を着ている場合は、脱いでからカフ(腕帯)を巻いてください。また、衣服などをまくり上げると上腕部が圧迫されて正しく測定できない場合があります。
- 腕周囲が22cm未満の方、32cmを超えた方が測定した場合、正しく血圧を測定できない場合があります。

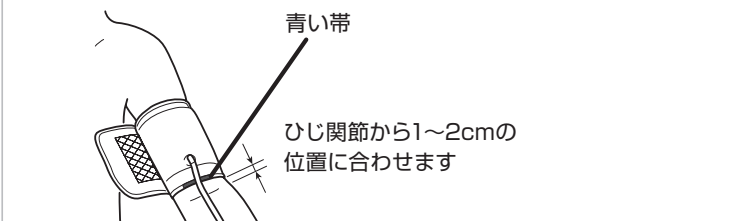
① エアホースプラグを本体に差し込みます



② カフ(腕帯)を左腕に通します

- ※カフ(腕帯)がカフリング(金具)から外れた時は、面ファスナーが付いている面が外側になるようにカフリング(金具)に通してください。
- ①面ファスナーをはがして広げます。
- ②青い帯が手のひら側になるように腕に通します。

③ カフ(腕帯)の青い帯を腕の中心に合わせます



④ カフ(腕帯)を腕にぴったり巻きつけ、面ファスナーで固定します

巻きつけがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、正しく測定できないことがあります。

右腕でも測定できます

右腕で測定するときも青い帯を腕の中心に合わせてください。
※血圧は左右で10 mm Hg程度の差がでる場合がありますので、毎回同じ側の腕で測定してください。

9. 正しい姿勢を確認しましょう

血圧は測定するときの姿勢や時刻によって変化します。毎日同じ時刻に、背筋を伸ばし正しい姿勢で、深呼吸をしてリラックスして測りましょう。

- 姿勢を整えましょう**
- カフ(腕帯)を心臓と同じ高さにししましょう**
- 手のひらを上に向けて、力を抜きましょう**

10. 測定しましょう

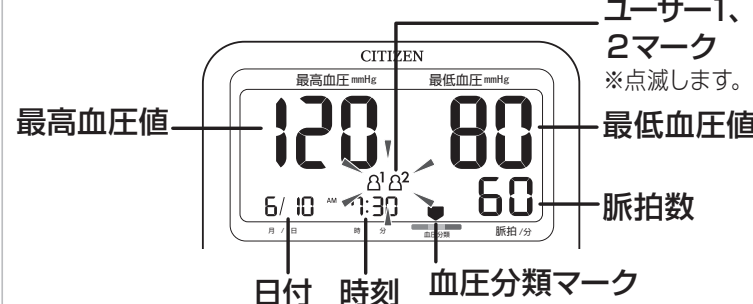
- 測定/停止** を押して測定を開始します
全点灯表示時のマークは、電池交換のお知らせではありません。
- 脈拍を感知すると測定マーク♥が点滅します。

※測定を止めるときは、[測定/停止]スイッチを押してください。[測定/停止]スイッチを押しても空気が抜けない場合は、本体からエアホースプラグを抜き、腕からカフ(腕帯)を外してください。

【マニュアル加圧】

- [測定/停止]スイッチを押し続け、停止したい(最高血圧より約40mmHg高い)加圧値でスイッチを離すと、その圧力で加圧を停止させることができます。加圧上限値は280mmHgです。

② 測定結果が表示されます



- ※測定結果マーク「**!**」が表示された場合は、「12.マークについて」を参照してください。
- ③ **△1** または **△2** を押します
△1 または **△2** を押さないと測定結果は記録されません。
※測定結果を記録しないときは、[ユーザー1、2]スイッチを押さずに[測定/停止]スイッチを押して測定を終了します。
※測定後にスイッチを押さなくても、約3分後に、自動的に測定を終了します。(この時、測定結果は記録されません。)
※体動マーク **!** が表示された場合は平均値には計算されません。

